

令和4年9月1日

会 員 各 位

一般社団法人 滋賀県トラック協会
会 長 甲 斐 切 稔

令和4年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」の実施について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、当協会事業運営につきましてご理解ご強力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記運動の実施について、令和4年5月13日付け国土交通省自動車局長通達（別添1）を受け、下記のとおり全日本トラック協会長から都道府県トラック協会長に対し、本運動の周知と推進方の通知がありましたのでご案内申し上げます。

つきましては、ご多忙の中、誠に恐縮ですが本運動の趣旨をご理解いただきますとともに、運動の推進にご協力強力下さいますようお願い申し上げます。 敬具

記

全ト協発 第81号（環）
令和4年5月23日

各都道府県トラック協会会長 殿

公益社団法人 全日本トラック協会
会 長 坂 本 克 己

令和4年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」の実施について

平素は当協会の業務運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

今般、国土交通省自動車局長より、別紙1のとおり「自動車点検整備推進運動の実施について（依頼）」の通達がありました。

これを受け、全ト協は、別紙3のとおり「トラック運送業界における点検整備推進運動」実施要領を定め、独自の取り組みを推進いたします。

また、本運動の実施期間は、全国統一の強化月間（9月）に加え、地域事情に応じて各都道府県トラック協会独自に設定する1ヶ月間となります。

つきましては、貴協会におかれましても本趣旨をご理解の上、下記により傘下会員事業者へ周知徹底をお願いするとともに、本運動の推進にご協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

記

1. 「トラック運送業界における点検整備推進運動」の実施について

- (1) 別紙1及び別紙2は、国土交通省から全ト協宛の協力要請通知及び実施細目です。
- (2) 別紙3は、国土交通省からの要請を受けて、トラック運送業界独自の取り組みをまとめた「トラック運送業界における点検整備推進運動」実施要領です。各協会におかれましては、別紙3の実施要領に基づき、積極的な運動を実施するようお願い致します。

2. 実施結果の報告

各協会の実施結果及び、会員事業者における自主点検・整備の実施状況（エアクリナーの点検）については、11月18日（金）までに、別添4・別添5の様式での報告をお願い致します。

なお、地方独自強化月間が11月以降で、上記期限に提出できない場合は、全ト協に連絡のうえ、終わり次第ご提出ください。

3. 「令和4年度自動車点検整備推進運動における大型自動車の重点点検の実施について」の協力要請について・・・対象事業者のみで省略

全ト協(各地方協会を含む)会員であって、車両総重量8トン以上の自動車を50両以上保有する事業者については、大型自動車の重点点検実施の対象になっています。

つきましては、別紙2の別添5-1「令和4年度自動車点検整備推進運動における大型自動車の重点点検の実施要領」に基づいて点検を実施し、別添5-2様式1の「定期点検 報告様式」及び、別添5-2様式3の「ホイール・ナットの緩み報告様式」により、管轄 運輸局又は運輸支局に報告するようお願いいたします。

4. 令和4年度自動車点検整備推進運動の取組みに係る事前周知について

自動車点検整備推進運動の中で、国土交通省の取組みとして、「前検査でユーザー車検を受検する場合には、定期点検記録を持参・提示し、直近の3ヶ月点検の実施状況について確認を受けることが必要になる」ことから、前項とあわせて、傘下会員事業者に周知をお願いいたします。

※ 上記「2. 実施結果の報告」については、読み替えて、別添5の様式（9月分及び10月分）により、11月4日（金）までにFAX（077-585-8015）にてご報告願います。

別紙 1

国自整第40号
国自基第28号
令和4年5月13日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省自動車局長
(公印省略)

自動車点検整備推進運動の実施について (依頼)

我が国の自動車保有台数は令和3年12月末現在で8千万台を超えており、国民の生活や経済の発展における役割は、ますます重要なものとなっています。

その一方で、昨年の交通事故による死者数は2,636人、負傷者数は約36万人と、依然として多くの方が被害に遭われている状況が続いています。また、今や国産メーカーの製造する乗用車の約9割に衝突被害軽減ブレーキが搭載されるなど先進安全技術を搭載した自動車が急増しておりますが、搭載されたカメラ・センサーなどの電子制御装置に故障や不具合が発生し、予期せぬ事故やトラブルにつながった事例もあります。さらに環境面においても、カーボンニュートラルをはじめとした地球温暖化対策等への配慮が必要な状況です。

このようなことに鑑み、自動車の使用者には自動車の適切な点検・整備の実施が義務付けられておりますが、それが使用者に十分理解されているとは言えず、例えば定期点検整備の実施状況は乗用車で6割程度に留まっています。また、大型トラックでは、重大事故につながりうる車輪脱落事故が多発・増加するといった深刻な状況が続いており、大型バスにおいても、少数ではあるものの依然として車両火災事故が発生している状況です。さらに、令和4年4月23日に北海道において、観光船の海難により乗員乗客が行方不明、死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。自動車運送事業においても、輸送の安全の確保が最大の使命であることを改めて確認し、車両の点検整備を確実に実施することが求められております。

これらを踏まえると、自動車の安全確保のための予防的な点検・整備が確実に実施されるよう、啓発を行っていくことが重要といえます。このため、国土交通省では、関係機関等の協力のもと、別添の実施要領により「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開し、自動車ユーザーによる保守管理の徹底を強力に推進することといたしました。

つきましては、貴団体におかれましても、本運動の趣旨をご理解のうえご協力いただくとともに、傘下会員団体及び事業者に対し、本運動の実施について適切なご指導をよろしくお願いいたします。

令和4年度「トラック運送業界における点検整備推進運動」 実施要領

令和4年5月23日
公益社団法人全日本トラック協会

第1. 目的

トラック輸送は、今や国民の生活や経済に不可欠な存在である一方、トラックによる交通事故は重大事故に繋がるおそれがあり、特に大型トラックでは、重大事故につながりかねない車輪脱落事故が多発しており、車輪脱落事故や不具合等による事故防止や、環境面においてもカーボンニュートラルをはじめとした地球温暖化等への配慮が求められています。

このような状況の中、日常点検、定期点検などによる点検・整備の実施が義務付けられているものの、その実施状況は必ずしも十分とは言えず、不正改造の防止とともに、点検整備の確実な実施を徹底して行く必要があります。また、近年、急増している大型トラック（車両総重量8トン以上）の車輪脱落事故を防止するために、ホイール・ナットの緩みの点検の確実な実施が必要不可欠です。

さらに、令和4年4月23日に北海道において、観光船の海難により乗員乗客が行方不明、死亡するという大変痛ましい事故が発生したことを踏まえ、トラック運送業界においても、輸送の安全の確保が最大の使命であることを改めて確認し、車両の点検整備を確実に実施しなければなりません。

このため、トラック運送業界として、より確実な点検整備を目指して、各都道府県トラック協会の協力のもと、「トラック運送業界における点検整備推進運動」を全国展開する。

第2. 実施期間

本運動は1年を通じて実施するものとするが、令和4年9月1日(木)から9月30日(金)までの1ヶ月間を全国統一の「自動車点検整備推進運動強化月間」とし、これに加え、地域事情に応じて各都道府県トラック協会が独自に設定する1ヶ月間を「地方独自強化月間」として、特に重点をおいて実施する。

第3. 実施内容と周知方策

1. 実施項目

(1) 「大型自動車に関する適切な点検・整備の実施方法についての啓発」

機関誌（紙）やホームページ等を活用し、大型トラックのホイールの取付状態や燃料装置等の重点箇所に係る点検の実施を周知する。

①法定定期点検項目のうち、以下に掲げる点検項目を重点点検項目とする。

重点点検項目

点検時期		3ヶ月点検	12ヶ月点検
点検箇所			
原動機	燃料装置	燃料もれ	同左
電気装置	電気配線	接続部の緩み及び損傷	同左
制動装置	ホース及びパイプ	漏れ、損傷及び取付状態	同左

	ブレーキ・ チャンバ	ロッドのストローク	同左 機能
--	---------------	-----------	----------

②貨物運送事業者が保有する全ての大型貨物自動車について、重点点検期間中（9月1日～11月30日）、法定点検時期の有無にかかわらず、一回以上、ホイール・ナットの緩みの重点点検を実施する。なお、冬用タイヤへの交換後1ヶ月以内に車輪が脱落している傾向にあることから、重点点検期間中に冬用タイヤへの交換を予定している場合には、冬用タイヤ交換後に点検することとする。

(2) 「黒煙濃度に影響を及ぼす部品等の自主点検・整備の実施に関する啓発」

黒煙濃度の悪化に大きな影響を与えるエア・クリーナ・エレメント、燃料フィルタ、燃料噴射ポンプ等の点検・整備の自主的な実施について周知する。

(3) 「DPF（黒煙除去フィルタ）等の後処理装置付き車の正しい使用方法に関する啓発」

確実な定期点検の実施、DPFに堆積したアッシュ（灰分）の定期的な点検・清掃、低硫黄軽油（S10）の使用、メーカー指定のエンジンオイルの使用等、DPF装着車両の正しい使用方法についての周知を図る。

2. 周知方策

- (1) 全ト協において、全ト協機関紙「広報とらつく」及びホームページ等により、本運動の周知を図る。
- (2) 各都道府県トラック協会において、ホームページ及び機関誌（紙）等を活用し、全会員事業者等へ周知を図る。
- (3) 地方適正化事業実施機関における事業者巡回指導の際に、各事業所へ本運動の啓発・指導を実施する。
- (4) 業界紙等に本運動の広告を掲載する。

第4. 各都道府県トラック協会へのお願い

- (1) 本実施要領を参考に、各都道府県トラック協会独自の取り組みを含めて実施計画を策定し、積極的に運動を実施するようにお願いします。
- (2) 全国統一の強化月間（令和4年9月1日（木）～9月30日（金））における各都道府県トラック協会の実施結果及び、地域事情に応じて各都道府県トラック協会独自で設定した1ヶ月間の「地方独自強化月間」における実施結果については、別紙4の様式により全ト協交通・環境部あて提出するようお願いします。
- (3) 「黒煙濃度に影響を及ぼす部品等の自主点検・整備の実施」については、会員事業者における全国統一の強化月間（9月）及び「地方独自強化月間」の実施状況をとりまとめ、別紙5の様式により全ト協交通・環境部までご報告ください。
- (4) 上記（2）（3）の提出期限は、11月18日（金）までとしますが、「地方独自強化月間」が11月以降の場合は、終了後速やかご提出願います。

以上

(一社)滋賀県トラック協会 行

FAX : 077-585-8015

令和4年度「自動車点検整備推進運動」

事業者名	
------	--

○運送事業者による自主点検結果(9月、10月実施分)

	9月	10月
エア・クリーナを清掃した車両数(①)	台	台
エア・クリーナを交換した車両数(②)	台	台
エア・クリーナの清掃、交換の必要がなかった車両数(③)	台	台
点検を実施した車両総数(①+②+③)	台	台

※ 9月及び10月分をまとめて、11月4日(金)までにご報告願います。